

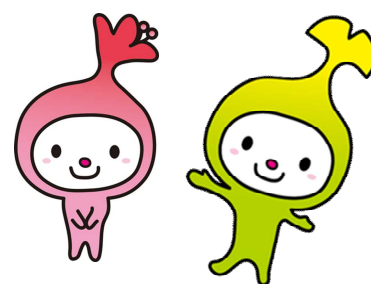
和光市省エネコンテスト 2022表彰式

プログラム

日時 令和4年11月23日（水） 午前10時から

場所 和光市役所 502会議室

- 1 開会のあいさつ
- 2 表彰状授与
- 3 学校代表児童による感想等の発表
- 4 ミニ講演会
「環境と資源について～リサイクルで万華鏡を作ろう～」
講師：明石 敬一氏（東京ガスネットワーク株式会社）
- 5 閉会のあいさつ



和光市イメージキャラクター
「わこうつちとさつきちゃん」

座席表 (前方)

1	7	13	19	25	31
2	8	14	20	26	32
3	9	15	21	27	33
4	10	16	22	34	
5	11	17	23	28	35
6	12	18	24	29	36
				30	37

受付

観覧席





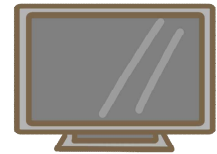
今、世界中で大きな問題になっている地球温暖化。近年の異常気象も地球温暖化が原因の一つかもしれません。和光市では、環境を守るために、一人ひとりが地球にやさしい暮らしを心がけ、地球温暖化問題を考えることを目的に「和光市省エネコンテスト」を実施しています。

今年は639人の小学4年生の皆さんに、省エネチェックブックに取り組みいただきました。「家族みんなで行き、これからも家族みんなで行きたい」という声が多く、たくさんの皆さんにご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

今回、皆さんから提出していただいた省エネチェックブックの中から、積極的でオススメの省エネ行動や取り組んでみての感想を紹介します。



積極的でオススメの省エネ行動



- リサイクルできる物はリサイクルし、ごみをへらす
- 賞味期限がすぎてもすぐ捨てない（消費期限はすてる）
- 家のエアコンを使わず、図書館ですごす
- すいはんジャーはできるだけ保温機のを使わない
- 外で遊ぶ
- 生ごみをひりょうにする
- 家族はなるべく一つの部屋で生活する
- 地産地消
- 顔をあらうときは水をためてつかう
- 「マイ〜」を使う。マイ「ペットボトル」、マイ「はし」、マイ「バッグ」
- 暑かったら麦茶などで体をひやす



©和光市



子どもたちの感想

©和光市

- 道路や公園にゴミがたくさん落ちていたのでゴミを拾った。とくに一番多いゴミはたばこのすいがらだった。他にはおかしなゴミやマスクが落ちていた。土・日にゴミを拾って町をきれいにする！
- あつい夏は、体をひやしてくれるおやさいをいっぱい食べました。活動する前は、にが手なトマトやオクラ、キュウリだったけど、しょうエネを学んでからは好ききらいしている場合じゃない、かんきょうをまもりたいという気持ちが強くなりおいしくたべれるようになった。明るいうちのおふろやトイレはまどあかりですごしました。
- わたしは、資源の大量消ひについて考えました。人々は、せきゆを大量に使っています。せきゆは、プラスチックやガソリンなどに使用されています。みんながリサイクルをがんばると、新しいせきゆをつかわないですむので、資源の消ひがおさえられると思います。
- ポイすてをしないようにするために、例えばピクニックでプラスチックのようきのおべん当だったら、ふくろを持って行きゴミを持ちかえることが大切です。海洋ごみは、ゴミが多くて海に流れてしまう場合もありますが、ポイすてもげんいんです。ポイすてを少なくしたら、海洋ゴミのたいさくにもなると思います。
- ごみなどがまちにちらかり、ふえつづけこのままでは、未来はごみだらけになるかもしれません。それでわたしは、ごみひろいなどやっている人をふやしたり、自分でひまなときやっています。それをやったらまちがきれいに、きもちもきれいになります。わたしはみんなでごみひろいをしてかんきょうをととのえたらいいと思います。

- グリーンカーテンを作って、ベランダの温度もさげ、エアコンのある部屋はレースのカーテンをしめて、外からの熱気を防いで冷ぼうこうりつをよくする。
- 地球温暖化の影響をより多くの人に知ってもらい、省エネに少しでも取り組んだら、2030年までに、達成するのではないかと思います。取り組めるはんいは子供に比べて大人の方が広いと思いますが、子供にも取り組めることがかなりあるので、私達も一生けんめいに取り組んだ方が良くと思いました。
- CO₂はどうしてふえるのかというと、おもに化石燃料などを燃焼させると発生します。身近な所で化石燃料の燃焼をへらすためには車よりも電車やバスを利用したり、近場への移動は徒歩、または自転車を利用するなどです。では、自分にできることは、バスの送りむかえを今までは、お母さんやお父さんに車に乗せてもらっていたけど、これからはあまり遠くはないし、自転車や歩いて行こうと思いました。

